

(特非) ラムサール・ネットワーク日本

ラムサール条約と生物多様性条約の水田決議に基づく田んぼ10年プロジェクトの加速化とSDGsを組み入れた新しい水田目標の構築と活動の推進

活動地域  日本全域及び国外



地域交流会での田んぼ巡り（中池見湿地）

課題

活動的な参加者を増やし、活動全体の活性化と、継続した事業としての基盤を強化する。そのような視点から人材育成、組織運用体制、海外事業の位置づけの見直しを行う。

目標

参加者少数地域で重点活動し、取組みを拡大・主流化し、年度内にSDGsとCBD新戦略計画を組み入れた新・10年計画を策定し、POST2020に備える。



今後の展望

現在の田んぼ10年プロジェクトは、来年度からは新10年プロジェクトに引き継がれる。現在の参加者に新規参加者に加え、現在の計画にSDGsとCBD新戦略を盛り込んだ新10年計画が今年度完成し、来年度始動。

活動内容と成果

地域交流会（敦賀市）、全国集会（東京）を開催。全参画団体へのアンケートとヒアリングを行い、2020年後の新10年計画策定に活用。農水、環境、国交省と水田決議円卓会議準備会を6回開催。「たより」を3号刊行。フィリピン・イフガオ州・国立大学のフォーラムで講演、意見交換。同州バタッド棚田で農家から農法の聞き取りと生物調査を実施。IUCNアジア地域自然保護フォーラム（パキスタン）に参加。新作ポスターを用いて活動を紹介し、2020年以降のIUCNの生物多様性戦略の水田関連の情報を収集した。



フィリピン・バタッド棚田での調査風景

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

水田決議円卓会議準備会

6回

「田んぼ10年だより」の発行

3号

今年度計画の達成度

75%

目標達成度

60%

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

生物が棲みやすい水田で営農する農家は、生き物に無関心な人が多く、その価値を理解してもらうためには、丁寧な説明が必要。

■ 工夫した点

エコプロ展（東京）にブース展示し、ブース訪問者に活動の説明とともに、参加を呼びかけ、多くの新規参加者を得ることができた。

〒110-0016
東京都台東区台東1-12-11
青木ビル3F
電話：03-3834-6566
E-mail：info@ramnet-j.org
HP：http://www.ramnet-j.org/

